



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング 上場取引所
コード番号 6149 URL <https://odawara-eng.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 保科 雅彦
問合せ先責任者（役職名） 管理部次長（氏名） 小泉 紳一（TEL）0465-83-1122
半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	8,414	△18.8	1,510	△26.1	1,568	△23.3	1,133	△20.6
2025年12月期中間期	10,359	123.5	2,044	337.7	2,044	264.9	1,427	263.3

（注）包括利益 2026年12月期中間期 1,256百万円（△6.6%） 2025年12月期中間期 1,345百万円（131.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	197.99	—
2025年12月期中間期	249.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	24,103	19,410	80.5
2025年12月期	24,856	18,528	74.5

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 19,410百万円 2025年12月期 18,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,000	△23.2	1,170	△61.7	1,240	△61.0	860	△62.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	6,392,736株	2025年12月期	6,392,736株
2026年12月期中間期	657,956株	2025年12月期	671,156株
2026年12月期中間期	5,725,518株	2025年12月期中間期	5,710,839株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果に加え、設備投資や輸出に持ち直しの動きがみられ、企業収益も改善するなど、景気は緩やかに回復しました。

世界経済は、欧州では景気に持ち直しの動きがみられ、米国では設備投資や個人消費の増加を背景に景気は緩やかな拡大が続いた一方、中国では不動産市場の停滞や固定資産投資の減少等により景気は緩やかに減速しました。また、中東情勢が物価や消費、エネルギー供給等に及ぼす影響や金融資本市場の変動が懸念されるなど、世界経済全体としては先行きの不透明感が続きました。

当社グループを取り巻く環境においては、巻線機事業の主要なお客様である自動車産業において、市場のニーズや規制、補助金政策の変化、中東情勢によるエネルギー価格の変動等を背景に新型車の開発計画の見直しが依然として続き、それに伴い設備投資計画も延期を含めた見直しが続いておりますが、新たな市場として、ヒューマノイドロボット用モーター巻線システムの需要が中国を中心に拡大していくことが期待されております。一方、事業環境全体としては、米国の通商政策の動向に加え、中東情勢の緊迫化をはじめとした地政学的リスク、金融資本市場の変動、原材料・エネルギー価格の上昇・高止まりなど、依然として先行き不透明で厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画（FY2024～FY2026）の巻線機事業、送風機・住設関連事業の重点施策の遂行により、計画の達成に向けて取り組みを進めたものの、売上高は8,414百万円(前年同期比18.8%減)、利益面につきましては、営業利益は1,510百万円(前年同期比26.1%減)、経常利益は1,568百万円(前年同期比23.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,133百万円(前年同期比20.6%減)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、前期からずれ込んでいた案件を含むxEV用モーター巻線システムのいくつかの案件を売り上げたものの、売上高は5,627百万円(前年同期比30.7%減)、売上が減少したこと等により、セグメント利益は1,537百万円(前年同期比29.9%減)となりました。また、自動車関連を中心としたお客様のxEV（電動車）を主とした新型車の開発計画の遅れにより、設備投資が後ろ倒しになっていること等により受注高は4,323百万円、受注残高は8,098百万円と減少しました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期、検収条件等が大きく異なるため、受注高や売上高が四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、送風機事業において工作機械やロボット向け軸流ファン及び倉庫向けビッグファンの受注が引き続き好調に推移し、住設関連事業はナフサ不足や原材料価格高騰の影響等により低迷したものの、売上高は2,787百万円(前年同期比24.5%増)、セグメント利益は軸流ファンの価格見直しもあり、177百万円(前年同期比143.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、16,305百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が326百万円、仕掛品が1,534百万円それぞれ増加し、現金及び預金が571百万円、電子記録債権が708百万円、商品及び製品が1,484百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、24,103百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.0%減少し、4,441百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が252百万円増加し、未払金が283百万円、契約負債が1,971百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて25.8%減少し、4,692百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、19,410百万円となりました。これは主に、利益剰余金が733百万円増加したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて171百万円(2.1%)減少し、8,054百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期に比べて129百万円(324.3%)増加し、170百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益1,574百万円等であります。また、支出の主な内訳は、契約負債の減少額1,997百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は36百万円(前年同期は3,493百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の純減少額400百万円等であります。また、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出346百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べて114百万円(40.2%)増加し、400百万円となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額399百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

巻線機事業において、下期に売上を予定していた一部の案件を前倒しで売り上げたため、売上高及び利益が上期に集中しました。この反動に加え、受注済み案件についても来期に売上を予定しているものが多いことにより、下期の売上高が減少する見込みの中、先を見据えた研究開発を継続することなどから、販売費及び一般管理費は一定水準で推移するため、下期は損失を見込んでおります。また、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスク、金融資本市場や為替の変動、原材料やエネルギー価格の上昇及び高止まりなど、事業環境は依然として先行き不透明な状況にあります。これらを踏まえ、利益が通期連結業績予想を上回っているものの、通期連結業績予想につきましては、修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,725,222	8,154,147
受取手形及び売掛金	1,752,389	2,079,233
電子記録債権	1,424,283	715,710
商品及び製品	2,699,795	1,215,182
仕掛品	1,396,087	2,930,285
原材料及び貯蔵品	875,117	1,008,075
未収還付法人税等	9,617	9,728
その他	214,375	194,397
貸倒引当金	△753	△1,405
流動資産合計	17,096,136	16,305,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,567,312	6,583,113
減価償却累計額	△2,927,425	△3,058,935
建物及び構築物(純額)	3,639,887	3,524,178
機械装置及び運搬具	2,160,676	2,262,716
減価償却累計額	△1,692,670	△1,757,330
機械装置及び運搬具(純額)	468,005	505,385
工具、器具及び備品	2,017,112	2,065,765
減価償却累計額	△1,644,572	△1,722,492
工具、器具及び備品(純額)	372,540	343,272
土地	1,878,743	1,880,414
建設仮勘定	51,721	14,966
有形固定資産合計	6,410,898	6,268,218
無形固定資産		
ソフトウェア	58,888	51,338
電話加入権	2,827	2,827
その他	2,124	8,547
無形固定資産合計	63,840	62,713
投資その他の資産		
投資有価証券	615,362	742,063
退職給付に係る資産	197,508	197,392
繰延税金資産	403,957	451,756
破産更生債権等	-	12,771
その他	68,855	76,312
貸倒引当金	-	△12,771
投資その他の資産合計	1,285,683	1,467,526
固定資産合計	7,760,422	7,798,458
資産合計	24,856,558	24,103,812

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011,150	1,263,808
未払金	520,334	236,542
未払法人税等	487,126	577,845
契約負債	3,695,006	1,723,789
賞与引当金	57,716	94,296
アフターサービス引当金	89,579	71,710
受注損失引当金	394	-
その他	222,419	473,353
流動負債合計	6,083,726	4,441,346
固定負債		
繰延税金負債	25,881	29,160
退職給付に係る負債	160,920	165,455
資産除去債務	21,983	22,162
その他	35,626	34,769
固定負債合計	244,411	251,549
負債合計	6,328,137	4,692,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,863,161	1,871,541
利益剰余金	16,047,469	16,780,568
自己株式	△920,265	△902,166
株主資本合計	18,241,181	19,000,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241,992	329,570
繰延ヘッジ損益	△33,951	△3,925
為替換算調整勘定	79,199	84,512
その他の包括利益累計額合計	287,239	410,157
純資産合計	18,528,421	19,410,917
負債純資産合計	24,856,558	24,103,812

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,359,806	8,414,499
売上原価	6,896,878	5,527,448
売上総利益	3,462,928	2,887,050
販売費及び一般管理費	1,418,578	1,376,325
営業利益	2,044,350	1,510,725
営業外収益		
受取利息	20,507	27,558
受取配当金	10,051	11,933
受取賃貸料	4,817	11,007
作業くず売却益	9,451	8,432
その他	5,482	6,906
営業外収益合計	50,310	65,838
営業外費用		
支払利息	71	130
為替差損	49,507	6,340
減価償却費	476	156
賃貸資産費用	-	1,860
その他	2	0
営業外費用合計	50,058	8,489
経常利益	2,044,602	1,568,074
特別利益		
固定資産売却益	-	6,014
特別利益合計	-	6,014
税金等調整前中間純利益	2,044,602	1,574,088
法人税、住民税及び事業税	702,887	534,802
法人税等調整額	△85,899	△94,323
法人税等合計	616,987	440,478
中間純利益	1,427,614	1,133,609
親会社株主に帰属する中間純利益	1,427,614	1,133,609

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	1,427,614	1,133,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,152	87,577
繰延ヘッジ損益	△8,879	30,026
為替換算調整勘定	△93,106	5,313
その他の包括利益合計	△81,833	122,917
中間包括利益	1,345,781	1,256,527
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,345,781	1,256,527

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,044,602	1,574,088
減価償却費	199,788	287,936
固定資産除売却損益(△は益)	-	△6,014
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,221	4,534
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	3,457	115
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,013	36,910
アフターサービス引当金の増減額(△は減少)	26,914	△18,160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	13,423
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△394
受取利息及び受取配当金	△30,558	△39,491
支払利息	71	130
売上債権の増減額(△は増加)	△159,797	405,792
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,025,974	△131,633
未収消費税等の増減額(△は増加)	△17,907	△12,067
仕入債務の増減額(△は減少)	278,210	264,176
未払金の増減額(△は減少)	33,809	△58,445
契約負債の増減額(△は減少)	△4,581,954	△1,997,199
その他	216,688	243,172
小計	33,449	566,876
利息及び配当金の受取額	30,089	39,049
利息の支払額	△71	△130
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△23,390	△435,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,077	170,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,000,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△486,307	△346,964
有形固定資産の売却による収入	-	6,014
無形固定資産の取得による支出	△5,668	△20,876
投資有価証券の取得による支出	△1,270	△1,326
その他	△296	△390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,493,543	36,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△85	△185
配当金の支払額	△284,518	△399,116
その他	△807	△831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,412	△400,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,624	22,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,800,502	△171,074
現金及び現金同等物の期首残高	10,364,627	8,225,222
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,564,124	8,054,147

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	8,121,012	2,238,794	10,359,806	—	10,359,806
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,121,012	2,238,794	10,359,806	—	10,359,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	361	361	△361	—
計	8,121,012	2,239,155	10,360,167	△361	10,359,806
セグメント利益	2,193,629	72,780	2,266,410	△222,059	2,044,350

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,059千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	5,627,258	2,787,240	8,414,499	—	8,414,499
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,627,258	2,787,240	8,414,499	—	8,414,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72	720	792	△792	—
計	5,627,330	2,787,960	8,415,291	△792	8,414,499
セグメント利益	1,537,169	177,107	1,714,276	△203,550	1,510,725

(注) 1. セグメント利益の調整額△203,550千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。